

2023 年度  
東京都立大学大学院 都市環境科学研究科  
都市政策科学域 選抜試験（冬季）  
博士前期課程（一般・社会人）（4月入学）

科目 < 専門科目 >  
時間 13 : 30 ~ 15 : 30

- 注意事項：①問題の選択にあたっては、最初のページの冒頭の説明をよく読んで解答しなさい。  
②解答は、配布された答案用紙1枚ずつに、選択した問題1題ずつを別々に解答しなさい。  
③答案用紙の「学修番号」欄に「受験番号」を、「氏名」欄に「氏名」を、「題目」欄に問題のコード番号を記入してください。  
④監督者の指示があるまで問題冊子は開かないでください（その他、監督者の指示に従うこと）。

受験番号	一般・社会人	氏名
------	--------	----

以下、601から613まで13個のコード番号について、それぞれ問題があります。

これら全13問（13コード）の中から2問（2コード）を選択して解答下さい。

ただし、第一希望とした教員のコード番号の問題は、必ず選択すること。また、1問につき答案用紙1枚に解答すること。

教員コード

山村 崇	601
伊藤 史子	602
饗庭 伸	603
市古 太郎	604
朝日 ちさと	605
奥 真美	606
白石 賢	607

金子 憲	608
松井 望	609
長野 基	610
大槻 茂実	611
杉原 陽子	612
山本 薫子	613

601

(1) 日本における「コンパクトシティ政策」とはいかなるものかについて、その目的に触れながら、600字程度で説明しなさい。

ただし、以下のキーワードを全て用い、それらには下線を引くこと。

(都市スプロール、立地適正化、中心市街地の衰退)

(2) 日本における「コンパクトシティ政策」に関する、下記の2つの課題について、それぞれ400字程度で説明しなさい。

①郊外地域と農山村の再生

②まちなか居住の推進

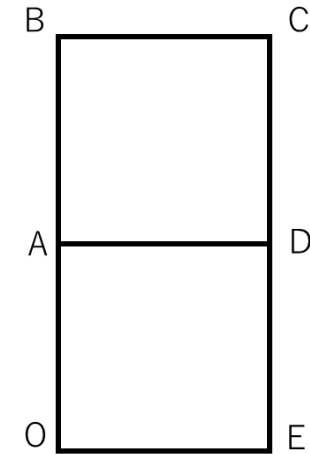
右の図のようなネットワークを有する町があり、各区間の移動コストは1である。町の施設は中心  $O$  に設置されており、5つの居住地が  $A\sim E$  に配置されている。各居住地からは施設利用のため町中心  $O$  へ移動する必要がある。たとえば居住地  $C$  から町中心の施設（位置  $O$ ）までの最短移動コストは3となることがわかる。この町の総移動コストを、5つの居住地  $A\sim E$  から町中心  $O$  までの最短移動コストの総和と定義する。

以下の問に答えなさい。なお、問（1）～（3）は導出過程も明記すること。

（1） 右の図に示す現状における、町の総移動コストを求めなさい。

ここで、道路整備を行うことを考えよう。道路整備により当該区間の移動コストは0.5倍になるとする。2区間を選び、道路整備を行う状況を考える（区間は連続していても離れていても構わない）。

- （2） 総移動コストが最小となるのは、どの2区間を整備する場合か求めなさい。
- （3） 総移動コストが最大となるのは、どの2区間を整備する場合か求めなさい。
- （4） 上の問（2）（3）の結果をふまえ、道路整備の区間をどのように計画するのが良いか、論述しなさい。



603

以下の（１）（２）（３）（４）（５）の各課題に対応するため、都市計画やまちづくりで使われる具体的な理論や方法、およびその詳細をそれぞれ300文字程度で解説しなさい。なお、各々の課題に対して複数の理論や方法があるが、全てを網羅する必要はなく、1種類以上の理論や方法の解答で構わない。また、日本固有の理論や方法である必要はない。

- （１）住宅の日照，通風の確保
- （２）大規模な緑地の保全
- （３）大都市への流入者に対する良好な住宅の供給
- （４）子供たちが安全（交通）に暮らせる市街地の形成
- （５）戸建て住宅団地における敷地の細分化の防止

(1) 民間企業の自然災害対策としての事業継続計画（BCP）について、次の用語を全て使って説明しなさい。

用語欄：目標復旧時間（RTO）、事業影響度評価（BIA）、事業継続戦略（BCS）、代替戦略

(2) 津波防災対策の基本的な考え方に「多重防災論」がある。

①次の用語を全て使って、多重防災論を説明しなさい。

用語欄：防災構造物、津波防災まちづくり、防災体制

②東日本大震災の津波で大きく被災した沿岸市街地の復興事業について、多重防災論の視点から論じなさい。事例を挙げながら論じることが望ましい。

ある消費者は自らの選好に基づいて財1および財2を購入し、その2財にすべての所得を費やすとする。このとき、 $t_1$ 期から $t_4$ 期の4期間における2財の価格と消費量が次の表のように観察された。消費者の選好は全期間を通じて変化せず、それぞれの期間の所得と価格を所与としたとき、2財の消費の組み合わせがひとつだけ選択されるとする。

表 4 期間における2財の価格と消費量

	$t_1$ 期	$t_2$ 期	$t_3$ 期	$t_4$ 期
財1の価格： $p_1$	20	20	30	50
財2の価格： $p_2$	40	20	20	10
財1の消費量： $x_1$	2	3	1	0.2
財2の消費量： $x_2$	1.5	0.5	2	4

(1) 表のように、市場における消費者の財の選択行動を観察することで、その消費者の選好を知ることができるという考え方を何といいますか。一語で答えなさい。

(2) 各期の選択行動において、効用最大化による選択行動と整合的でない選択行動が観察される期の組み合わせが1つあります。第何期と第何期の組み合わせか、理由の説明とともに解答しなさい。

(3)  $t_2$ 期から $t_3$ 期では財1の価格が上昇しています。価格上昇による消費者の生計の状態の変化について次の問に解答しなさい。

- ① ラスパイレスの物価指数を計算しなさい。計算の過程を示すこと。
- ② パーシェの物価指数を計算しなさい。計算の過程を示すこと。
- ③ ①と②の値が異なる理由について説明しなさい。

606

サーキュラーエコノミーを実現するうえで法がどのような役割を果たし得るかについて、国内外における具体的な法制度を例に論じなさい。その際、当該法制度の意義と限界を指摘し、限界の克服に向けた解決策についても説明すること。



表中の( )の左側の数値がプレイヤーAの利得, 右側の数値がプレイヤーBの利得として, 2人によるゲーム又は進化ゲームの利得構造が以下の様に示されているとする。

		プレイヤーB	
		協調	非協調
プレイヤーA	協調	(C,C)	(C,D)
	非協調	(D,C)	(D,D)

この利得構造を用いて, 以下の問いに答えなさい。

(1) ①囚人のジレンマゲーム, ②調整(コーディネーション)ゲーム, ③スタグ・ハント(鹿狩り)ゲーム, ④チキン(タカ・ハト)ゲームのそれぞれのゲームについて, プレイヤーAからみた利得の多い順番の利得の組を不等式, 等式を用いて示しなさい。  
(たとえば,  $(C,C) > (D,D)$ ...などの様に示す)

(2) (1)の4つのゲームの型のナッシュ均衡の利得の組をそれぞれ示しなさい。

(3) (1)の4つのゲームの型はどのような現実の社会状態をモデル化(表現)したものであるか簡単に述べなさい。説明には実際の社会現象などの事例を用いて説明しても構わない。

608

財政の維持可能性に関するドーマーの定理について説明しなさい。

(1) (2) の用語をそれぞれ論ぜよ。

(1) 獵官制 (スポイルズ・システム)

(2) フリードリッヒ・ファイナー論争

日本の地方自治制度の変遷の中で「市町村の規模をどの大きさに再編成すべきか」は継続して問われてきた点であった。この中には人口規模の大きい市に特別に適用する制度のあり方も含まれよう。これらを踏まえ、以下の(1)～(3)を解答しなさい。説明に当たっては具体的な自治体名を挙げても構わない。また、必要に応じて数式や図を用いてもよい。

- (1) 「大都市地域における特別区の設置に関する法律」(大都市地域特別区設置法)の内容を説明しなさい。
- (2) 地方自治法に基づき設置される「総合区」制度の特徴を説明しなさい。
- (3) 市町村合併による自治体の広域化を代議制民主主義の視点で見た場合のメリットとデメリットを多角的に考察して説明しなさい。

- (1) 社会的事実とはどのような概念か説明しなさい。その際には、以下の語句を全て使用すること。  
【デュルケーム, 個人, 集団, 外在, 拘束】
  
- (2) 社会学における水平移動と垂直移動とはどのような概念か説明しなさい。また、地域移動は水平移動と一致するとみなせるか、答えなさい。その際、その理由も簡潔に説明しなさい。
  
- (3) 第二波フェミニズムを簡潔に説明しなさい。その際、第二波フェミニズムが最初に起きた時代、国を明示すること。また、以下の語句を全て使用すること。  
【女性解放運動, 公的領域, 私的領域, 性別分業規範】
  
- (4) 生態学的誤謬（エコロジカルファラシー）を簡潔に説明しなさい。

## 6 1 2

(1) 以下の各用語について説明しなさい。

- ①ノーマライゼーション
- ②バリアフリー
- ③ユニバーサルデザイン

(2) 社会階層と健康に関する以下の設問に答えなさい。

- ①社会階層を測定する際に使用される主な指標を3つ挙げなさい。
- ②社会階層によって健康格差が生じるメカニズムについて、仮説を4つ挙げて、それぞれについて説明しなさい。

(3) 死因統計に関する以下の設問に答えなさい。

- ①「10～39歳」、「40～89歳」の各年代において、最も多い死因はそれぞれ何か。
- ②上記①の各死因に対する重要な対策を、それぞれ2つずつ挙げなさい。

以下の文を読み、日本語もしくは英語で問いに答えなさい。

Read the following sentences and answer the questions in Japanese or English.

Tokyo's labor market began to change in the 1970s with a substantial contraction of manufacturing and primary industries, coinciding with the expansion of services (Sassen 2001). But expanding services and financial sectors have not globalized extensively <sup>(a)</sup>, and Tokyo has primarily been a strategic location for the global headquarters of Japanese firms (Waley 2007). Even though the Tokyo Metropolitan Government conducted "world city" campaigns <sup>(b)</sup> to promote its attractiveness to global capital, it retained a developmental approach through the early 2000s, promoting stable business growth by supporting firms in targeted industries rather than using a competitive entrepreneurial approach with tax relief incentives (Fujita 2003; Saito and Thornley 2003). This fostered investment in high-tech industries such as environmental technology, life science, information technology, and nanotechnology. But at the same time, national deregulation of labor markets and corporate restructuring eroded traditional management practices <sup>(c)</sup>, and the ranks of those in nonstandard employment <sup>(d)</sup> in Tokyo expanded (Hasegawa 2006). Also, a continued focus on exports, especially to the United States, without stimulating domestic consumption rendered Tokyo's economy vulnerable to the 2008 global economic crisis (Fujita 2011).

Source: Matthew D. Marr, 2015, *Better Must Come: Exiting Homelessness in Two Global Cities*. Ithaca: Cornell University Press: 44-45.

(1) なぜ下線部 (a) のような状態になったのか、下線部 (b) との関連で説明しなさい。

Q1 Explain why it reached to the state of the underline (a) in terms of relation of the underline (b).

注意：次ページにも問題があります

(2) 下線部 (c) が示す内容を簡潔に説明した上で、それと日本の高度成長期 (1955 年～1973 年) における郊外化との関連について説明しなさい。

Q2 Explain what the underline (c) means and describe relation between those referred in the underline (c) and suburbanization during the high economic growth period in Japan (1955-1973).

(3) 下線部 (d) が示す内容を簡潔に説明した上で、そのことが東京など日本の都市においてそうした雇用のもとで働く労働者にどのような影響を及ぼしたか、説明しなさい。

Q3 Explain briefly what the underline (d) means and describe an impact of those referred in the underline (d) to laborers in the employment situation in Japanese cities such as Tokyo.